



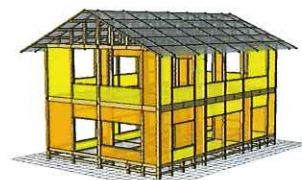
軽い屋根でも地震で倒壊する

スレートや金属屋根でも倒壊することがあります

上の写真は、2016年(平成28年)4月14日の熊本地震で倒壊した住宅です。スレートや金属といった軽い屋根材であっても、住宅全体の耐震性能が低いと倒壊してしまいます。このように、軽い屋根材を使った住宅でも倒壊しており、「瓦が重いから住宅が倒壊した」という風評と矛盾が生じています。

耐震シミュレーションソフト **wallstat** で検証

- ① 耐震診断を伴わない屋根の軽量化は、大地震時に倒壊する可能性があります。
- ② 耐震診断から耐震補強の内容を定めることが重要です。
- ③ 瓦屋根は巨大地震に耐えられる。瓦屋根が地震に弱いというのは間違い。

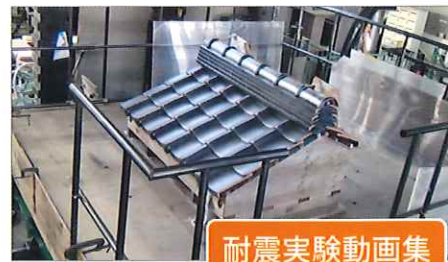


wallstat での検証について
詳しくは HP をご参照ください。



全瓦連 検索

数多くの耐震実験でも瓦の耐震性能が証明されています



耐震実験動画集

瓦業界では数々の耐震実験をしております。例えば、ガイドライン工法で施工した切妻屋根を、兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)JR鷹取駅の震度7地点と同等の震動を6回連続で行い、耐震性は実証しています。



他の屋根材と比較した場合の瓦屋根の優位性

■ 瓦はさびない！再塗装不要！30年で約180万円の節約になります



瓦以外の屋根材のほとんどは塗装しており、このため5～10年で色落ちし、再塗装が必要になります。

それに比べて瓦は、初期費用は高めですが、その後のメンテナンス費用はほとんどかかりません。その結果、トータルコストでみればとても経済的な屋根材です。

※ J形陶器瓦使用、屋根面積 100㎡の場合。金額、年数はあくまでも目安です。

※ 屋根の塗装費用は1回およそ70万円。仮に住宅の寿命を40年と想定した場合では、3回塗り直しが必要になります。

■ 瓦は屋根に求められる性能を高い水準でクリアしています



耐久性能

瓦は酸性雨や紫外線による色の変化がほとんどなく、他の屋根材に比べ優れた耐久性能があります。



防音性能

瓦は屋根を激しく叩く雨音や車などの外部の騒音をシャットアウトする優れた防音性能があるので、静かなお住まいになります。



耐火性能

瓦は1,000度以上の高温で焼成されており、建築基準法指定の『不燃材料』です。高い防火性能があり、火災による屋根からの類焼を防ぎます。



快適性能

瓦は熱を伝えにくいいため、高い遮熱効果があります。夏は涼しく冬は暖かい、快適な住まい環境を実現します。

■ 豊富なデザインと色彩



現在、瓦にはJ形、S形、F形、M形など多種多様な形状があります。色調では、銀色系、ブラック系、ブラウン系、グリーン系、ベージュ系など多彩な製品があり、最近では2～3色をランダムに並べるといった葺き方も多く、表現方法は無限といえます。

発行元

一般社団法人 全日本瓦工事業連盟

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-7-9 [TEL] 03-3265-2887

[URL] <http://www.yane.or.jp/>

全国陶器瓦工業組合連合会

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-7-9 [TEL] 03-3263-2840

[URL] <http://www.zentouren.or.jp/>